

4月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和5年4月7日



確かな成果につなぐ



校長 工藤 誠志

令和5年度がスタートしました。

肌に触れる風や桜の花の香りが春の訪れを感じさせます。春が近付き近付いてくる瞬間を感じるたびに期待に心もふくらんできます。

校長の工藤誠志（くどう まさし）と申します。昨年度に引き続きよろしくお願い申し上げます。今年度の在籍児童生徒数は、小学部123名、中学部71名の合計194名です。児童生徒一人一人が、自分の持てる力を発揮し、元気に明るく毎日を過ごせる学校にしたいと思います。また、自分の夢や希望の実現に向かって必要な力を身に付けられるように、また高められるように学習活動や指導を進めたいと考えております。そして、会話やコミュニケーションを大事にして、豊かな気持ちを育てるようにしていきます。活動全般に校内外でのダイナミックな活動や体験をとおして、わくわくドキドキしてもっといろいろやってみたくなるような楽しくて魅力のある八戸第二養護学校となるようにします。

一人一人の課題に応じた適切な指導や手立てによって、「できた」「わかった」という成果につながるようにしていきます。これまでの取り組みなどを確認しながら、保護者の皆さまと一緒に取り組んでいく内容もあると思います。この成果を児童生徒自身や保護者の皆さまが実感できるように「**確かな成果につなぐ**」をスローガンに、伝統あるハニ養の教育活動を継続し教職員が一丸となって取り組みます。



最後に、児童生徒の安全・安心のために新型コロナウイルス感染症防止対策を継続してまいります。保護者の皆さまには、何とぞ状況を御理解の上、御協力をお願い申し上げます。

なお、来月の国や県の動向を踏まえて、本校の対策等の変更する場合には速やかにお知らせいたします。